

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス88		公表日 2026年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	・エリアが区切られている。 ・中央を空ける配置にしている。	・利用人数が多い場合や高学年の児童が多く、施設が狭く感じるイベントの場合は、外遊びなどのイベントを実施していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・外出の際は、必ず担当職員が配置されている。 ・外出時の配車で男女のトイレ対応ができるように配置されている。	・人員体制を強化していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・情報伝達の配慮のため、目で見えてわかりやす工夫をしている。	・児童の目の高さや、手の届くところにおもちゃ等を置く。 ・マットのゆがみ等の危険性及び及ぶものについては、早急に対処を心がける。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	・毎日の掃除、消毒、おもちゃの消毒がしっかりと行われている。	・今後も、清掃に力をいれていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・個別の部屋のほかに段ボールで作った空間がある。	・それぞれのお子様にあった環境で支援できるよう工夫を凝らしていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	・目標と振り返りを朝礼終礼でおこない、情報共有ができています。	・休みの職員に共有が遅れてしまわないように、翌日の朝礼で共有時間を設けていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・年に一回、アンケートを行っている。 ・送迎時等、保護者様と話をし業務改善に努めている。	・アンケートの頻度を高めて、保護者様から意見を頂いていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・朝礼、終礼、月例会議で内容を共有している。	・お子様の長期休暇の際、共有漏れがないように、時間の確保を行う。 ・記録して、誰もが把握できる状況をつくる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	・第三者による外部評価を行っていない。	・今後、第三者による外部評価を行えるよう、検討をおこなう。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・職員にあった研修を行っている。	・外部研修に参加する機会を増やしていく。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・HPに公表している。	・今以上にお子様にあったプログラムを考え、支援プログラムに沿った支援を行っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・都度、アセスメントシートの更新を行い放課後等デイサービス計画を作成している。	・お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、課題に沿った放課後等デイサービス計画を立てていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	・会議を行い、「こどもの最善の利益」を考慮した検討を行っている。	・今後も全職員が共通理解した支援をお子様の最善の利益を考慮しながらおこなっていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・計画が出来た際に話し合いをおこない、職員間で共有して計画に沿った支援を行っている。	・計画から支援が逸れてしまった際は話し合い修正していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・アセスメントを使用して、日々のお子様の様子を記録している。	・終礼時の共有を記録して振り返りを行っていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・放課後等デイサービス計画ガイドラインに沿って家族支援や本人支援も踏まえながら、設定されている。	・地域支援・地域連携についてもう少しわかりやすく設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・月初に全職員で会議を行い、活動プログラムを計画している。	・翌月の活動プログラムを作成し、職員の意見をまとめてよりよい立案を行っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・以前の活動と同じ内容にならないように配慮している。	・お子様が参加したいと思えるようにアイデアを出していく。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・お子様の成長に合わせた支援になるように、目的をもって計画を立てている。	・個別活動をより取り入れてお子様の成長へつなげていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝礼にてしっかりと打ち合わせをしている。 ・役割分担などを確認し職員もお子様もわかるようにホワイトボードに内容を記入している。	・当日ではなく、前日までには活動時の動きや内容等の確認をしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・終礼にて振り返りや共有事項などを記録し、振り返りに繋げている。	・週末には、一週間の出来事を再度確認していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・気づいたことや修正点・改善するべき点を提案し会議で話し合っている。	・支援の検討や改善する機会を増やしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・計画について、難しい文言や専門用語を誰もがわかりやすいようにかみ砕いて説明し、見直しの必要性を判断しやすくしている。	保護者様に行ったモニタリングの情報を全職員へ共有する時間を多く設けていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		・自立支援、日常生活の充実、創作活動、地域交流、余暇等を組み合わせ支援を行っている。	・放課後等デイサービスガイドラインを保護者様にも説明を行いながら支援に取り入れていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・声掛けやイベントで自己選択できるように問いかけ、判断力を身につけられるよう支援している。	・楽しいイベントの中に、意思決定や判断力を培えるような支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児童発達支援管理責任者等の児童をよく理解した職員が参加している。	・全職員が参加できるように会議の内容等を全職員に共有していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・関係機関と連携しやすいように定期的に連絡を取り合っている。	・今後も支援体制を強化していけるように連絡を密にとりあていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・学校との情報共有を常に行っている。また、送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等もしっかりと行っている。	・各学校と送迎時や担任等の入れ替え時は、関係性を強化していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・お子様の状況を把握できるように都度、保育園や幼稚園等、情報共有し相互理解に努めている。	・保育園や幼稚園等、些細な事もしっかりと情報共有ができるように関係性を作っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	・今までに学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行するお子様はいないが体制は整っている。	・移行するお子様を想定して、事前にどのように連携を取るかを把握しておく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	・児童発達支援センターとの連絡を図ってお子様の発達や集団療育への助言を受けている。	・専門家が実施する社外研修を定期的に受けれるように体制を整えていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・外出イベントを通して交流を行っている。	・今以上に外出イベントを増やして交流をはかっている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	・月に一回ほど会議に参加させて頂いている。	・多くの職員が参加できるようにしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎の際に保護者様とお話することで、共通理解を持てるようにしている。	・今後もお子様のことを把握し、保護者様との共通理解を深めていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	・希望がある保護者様に情報を提供している。	・今後、体制を整えて家族参加型の研修等を計画していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約の際に内容を丁寧に伝えている。 ・変更点があった場合は都度伝えている。	・より丁寧に保護者様にわかりやすく伝えていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・契約の際に保護者様と現状の様子や希望をしっかりと確認し、随時意向確認を行っている。	・お子様と保護者様の最善の利益はなにか、を会議で話し合っていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・放課後等デイサービス計画の支援内容を説明し、保護者様から計画の同意を得ている。	・保護者様へ説明する際に専門用語をかみ砕いてわかりやすく伝えていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・家族支援や送迎の際の面談の時に、お悩みを汲み取っている。	・悩みを相談しやすい環境や雰囲気づくりをしている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	・現状、保護者様同士やご兄弟同士の交流機会を設けることができていない。	・保護者様やご兄弟が参加できるイベントを立案し、実行に移していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。 ・保護者様やお子様たちにも体制が整っていることを周知している。	・新規のお子様や保護者様にも周知を徹底していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・HPやSNSを活用して活動内容等を発信している。	・HPやSNSでお子様の様子や行事内容を見やすく分かりやすく発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報の取扱いについて、社内規則を順守し取り扱いは十分に留意している。	・個人情報流出を防ぐためにセキュリティを強化していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・お子様や保護者様に寄り添った対応をしている。	・お子様や保護者様に寄り添った対応が全職員できるようにしていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・イベントを通して地域との交流を行っている。	・年間行事の中に地域との交流するイベントを組み込んでいく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・契約時や更新の際、保護者様に事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を説明し周知している。 ・職員に対しても定期的に研修を行っている。	・マニュアルをわかりやすく策定していく。 ・全職員が緊急時に対応ができるように訓練・研修を継続して行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・BCP研修を定期的に行い、訓練をしている。 ・不備がないように都度更新している。	・外部研修に参加していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・保護者様にアセスメントシートを記入してもらい、毎年更新してお子様の状況を確認している。	・すぐに確認ができるように服薬や予防接種、てんかん発作等の専用ファイルを作っていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・医師の指示書に基づく対応している。	・全職員が必ず把握しているように周知していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・定期的に研修や訓練を行っている。 ・毎週、施設内の安全チェックも行っている。	・研修や訓練では、施設内で起こりうることを想定しながら実施していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	・契約や更新時に保護者様にしっかりと周知している。	・全職員が説明ができるように研修やロールプレイングを行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・日々の終礼や報告書を作成し、共有することで再発防止策をこうじている。	・他事業所で起こったヒヤリハット事例を会議で検討していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・定期的に研修を行っている。 ・毎月アンケートを実施し、虐待防止に繋げている。	・外部研修でお子様の対応を学ぶ。 ・職員の心身のケアも行っていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・契約や更新時に説明し了承を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載している。	・全職員が身体拘束について共通理解をする。 ・十分に理解したうえで支援を行っていく。	